

## 新型コロナウイルス感染症に係る予防対策について

本日より、学校を全面再開することができるようになりましたので、本校として、新しい生活様式等に基づき、次のような対策を取りながら授業等を進めてまいります。

### 1 学校生活を送る上での生徒の感染症対策

- (1) 毎日、体温等を健康観察表等に記載し、発熱等ある場合は、登校しない。
- (2) 新しい生活様式に基づく、感染防止の3つの基本
  - ①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い を励行する。
    - ・ 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
    - ・ 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
    - ・ 外出時に、屋内にいるときや会話をするときは、マスクを着用する。
    - ・ 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。
- (3) ハンカチ、ティッシュ、ビニール袋2袋（昼食・体育・部活動時のマスク保管用、ティッシュ等を捨てる際の廃棄用）を携行する。

### 2 教室における対策

- (1) 三密状況を回避する。
  - ・ 窓を開け適切に換気しながら、授業等を行う。
  - ・ 1年～4年は、縦列を1列減少させ、隣との距離を確保する。
  - ・ 1年～4年は、昼食時には教室を分散して活用する。
  - ・ 休憩時間は、すべての窓を開け換気する。
- (2) 消毒等の徹底
  - ・ 入室の際、手をアルコール消毒する。
  - ・ 授業日は、教職員が、生徒机、ドアノブ、手すり、スイッチ等を次亜塩素酸ナトリウム液で拭く。
  - ・ トイレへ便座用除菌シートやペーパータオルを置き活用する。
  - ・ マスクを忘れた生徒のために、マスクを準備しておく。

### 3 授業等における対策

- (1) 指導者
  - ・ 指導に携わる教員もマスクを着用し、最前列の生徒との距離を確保するとともに、机間指導等の際も、対面・距離等に考慮し工夫して行う。（体育の授業では、マスクを着用しない場合もあります。）
  - ・ 課題等の提出の際、1m以上の距離を取り並ばせる等、密にならないよう工夫する。
  - ・ タブレットを使った活動や調べ学習等、非接触型の授業等を取り入れる等の工夫をする。

## (2) 学習活動・部活動

- ・ 近距離で対面形式となるグループワーク・ペア学習を回避する。
- ・ 大きな声で一斉朗読や声を発する活動を回避する。
- ・ 理科の実験等で生徒同士が近距離で活動する場合、透明ボード等を立てかけ、近隣生徒との間をさえぎる。
- ・ 調理実習、歌唱及び管弦楽器演奏や生徒同士が近距離で活動する共同制作等では、シラバスを変更したり、分散したりしての学習や活動となるよう工夫する。
- ・ 体育授業では、熱中症対策を講じながら、屋外での授業を優先させるとともに、生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動は回避する。なお、本年度の水泳指導は、行わない。
- ・ 部室等の狭い空間は、少人数グループに分け交代しながら活用するとともに、短時間での使用を厳守しながら活動する。
- ・ 使用した教材教具等の消毒をする。
- ・ 当面、全校集会等生徒が一堂に会する活動を回避する。

## 4 来校者における対策

### (1) 来校時の健康確認

- ・ 非接触型体温計による検温を実施する。
- ・ 発熱等がない場合、手指のアルコール消毒とともに、マスク着用の上、来校者記録に記入して頂く。(マスクがない方には、学校で準備しています。)

### (2) 教職員等との接触

- ・ (1)で異常がない場合のみとして、新しい生活様式に基づく身体的距離等を厳守しながら対応する。

## 5 教職員における対策

- (1) 毎朝、検温を実施し、発熱がある場合は、勤務しない。
- (2) 新しい生活様式に基づき勤務する。
- (3) 感染拡大地域等への出張は自粛する。(当面、関東・関西・福岡は厳禁)
- (4) 健康管理の上でも、極力早期退校を促進する。そのためにも、当面の間、保護者の皆様も、緊急時を除き18時以降の電話は、お控えください。

(2020・6・1)